

鶏の暑熱対策を行いましょう！

気象庁によると近畿地方3か月予報では「6月の気温は前線や湿った空気の影響を受けやすく、ほぼ平年並みとなる見込み。6月の降水量は平年並みか多く、7月は太平洋高気圧に覆われやすく、平年並みか少なくなるとされています。真夏の体力低下を少しでも減らすために、今年も効果的な暑熱対策に取り組みましょう！

鶏舎の環境改善

《外からの熱を防ぎ、鶏舎内の温度上昇を防ぎましょう》

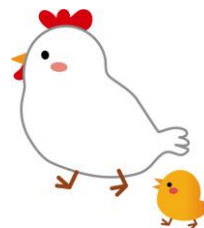
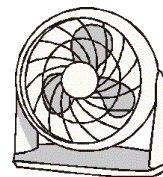
- 屋根や壁に断熱材を設置、白色ペンキや石灰を塗布する。
- 屋根にパイプ・スプリンクラーを付けて、散水する。
- 寒冷紗や緑のカーテンで直射日光を遮断する。
- こまめに除糞を行い、鶏舎内の発酵熱を減らす。
- 周囲の下草を刈り、不要な物を片付けて風通しを良くする。



鶏の暑さ対策

《鶏の体感温度を下げ、ビタミンを投与し、体力をつけましょう》

- 送風：扇風機・ダクトの送風で換気をよくし、体感温度を下げる。
（特に一日の暑さがこもる夕刻～夜間の送風は有効）
- 散水：湿度の低い日は細霧装置で散水する。
- 給餌：早朝や夕方の涼しい時間帯に採食させる。（肉用鶏では昼間の絶食も有効）
- 給水：ニップルドリンカーは一日に数回末端を解放し、水温を低く保つ。
- 飼料添加：不足しがちなビタミン、ミネラルを投与する。



採卵鶏（平飼い）
屋根に寒冷紗を設置した事例
京丹後市峰山町

ご不明な点は当所までお問い合わせください。

京都府丹後家畜保健衛生所 与謝郡与謝野町字下山田616
TEL 0772-43-1125（夜間・休日もつながります）
FAX 0772-43-1124